



ご連絡先：〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町2丁目29番
(東お茶の水ビル3階)
電話：070-3603-2172
メール：shinsetsukai-honbu@hdq.hitachi.co.jp

第10回 支部幹事会を開催

12月18日(水)15時から東お茶の水ビル1階会議室で第10回の支部幹事会が開催されました。

まず、鈴木支部長から12月4日(水)に開催された本部理事会の報告があり、親切会の第七代会長で当会名誉会長の玉河晋治さんが92歳で亡くなりました。親切会が一般社団法人に移行して1年目、思いも新たに組みたいと抱負を述べました。

続いて議事に入り、関東支部の今年4月以降の新規加入者と退会者の報告がありました。会員の拡大策として法人と個人、夫々について対応してきましたが、その成果の一部が現れてきています。親切会の申し込み方法など、ホームページの見直しとともに検討して行くことを確認しました。

2019年度の寄附先の施設訪問(22ヶ所)がこの日で全て完了したことが報告されました。寄附先には支部長、副支部長と幹事が手分けして訪問しました。各施設の活動状況などを報告書に沿って説明がありました。そのうちの1つ「ぶどうのいえ」の紹介を右欄に記載しました。

本会関東支部の監事が交替(安田俊樹→鈴木健二)することを承認されました。

また、継続取り組み案件として、災害備蓄品の有効活用を検討してきましたが、本年10月1日「食品ロス削減推進法」が施行され、国が国民運動として、フードバンクの支援などに取り組むとのことなので、その方向を見定めてから検討することしました。金銭以外の家電品等の提供、自販機利用による寄附金増対策、現役とタイアップした事業計画等についても検討しました。

その他、歳末助け合い募金運動はこれまで通り加入各社さんに募金箱の設置をお願いして実施しているとの報告がありました。

法人化後の当会ホームページの見直しを本部で検討しており、支部便りを活用して関東支部のニュースを充実させることになりました。

次の開催は、3月18日(水)を予定しています。

寄付先訪問 (ぶどうのいえ)

親切会の寄付先として「ぶどうのいえ」があります。この施設は1995年に日本聖公会の聖オモテ教会の女子学生寮を改築し、米国のマクドナルドハウスを参考にして難病の子供たちを支援するための宿泊施設として生まれました。

場所は東大地震研究所の隣で南北線の東大前駅から徒歩で5分程度のところです。

難病と闘う子供たちは、特別な治療を必要としており先端医療設備の病院、医師の充実した東京に入院しなければならない場合が多くあります。治療が長期にわたると付き添いの家族の経済的負担も大きくなります。

「ぶどうのいえ」は、難病と闘う子供たちの家族が安心して経済的に少ない負担で滞在できる場所で「もう一つの我が家」を目指しております。通院治療や入院中の子供に付き添われる家族のほか、病院・医師許可を得て一時外泊の形で滞在することができます。

「ぶどうのいえ」の周りには、東大病院、日本医科大学、順天堂大、東京医科歯科などの大学病院も多くあり、利用されているとのことでした。部屋数は全部で11、シャワー付きの部屋もあり、食事は自炊が主体で食事が作れるキッチン、プレイルームなどもあります。(一泊1500円から3000円)

ほとんどがボランティアで運営されており親切会としても今後も継続して寄付していきたいと考えております。

(鈴木健二 記)



ぶどうのいえ ホームページ

<http://www.budounoie.jp/>

歳末助け合い募金

本年も恒例の歳末助け合い募金を実施しました。ご協力有難うございました。募金結果は次号で、ご報告致します。

